



参加者からひと言

11北病棟避難訓練



11北病棟濱口師長

火災訓練に参加し、発災時に私達がどのように行動すべきかを考える事ができ、深める事ができました。机上訓練とは異なり現場で経験する事で、今後の実践に活かす事ができます。スタッフもしっかり役割を担い対応しており、とても心強く頼もしく感じました。消火訓練も実際にやってみて初めて大変さを実感で良い経験になりました。今後も、多くのスタッフが訓練に参加し体感して頂きたいと思いました。引き続き、病棟でもアクションカードを用い訓練をしていきたいと思ひます。



8南病棟避難訓練



8南病棟東師長

私は火災訓練に責任者サポートとして参加しました。アクションカードも確認してはいましたが、実際、ロールスクリーンが閉まり、外が見えない中で、メンバーの動きが確認できないことに対する不安が大きかったです。



Topics 令和7年度 栄養診療部・給食会社合同避難訓練を行いました

10月21日（火）地震が発生し、大津波警報が発令された(災害レベル4)という想定で訓練を行いました。参加した管理栄養士と給食スタッフは、発災を知らせる全館放送を聞き、安全を確保した後、厨房内に設置してある避難時アクションカード(役割ごとに取るべきアクションを簡潔にまとめたカード)に沿って避難を開始しました。当院がある地域では、最大クラスの南海トラフ地震の場合、発生から57分で30cmの津波が到達すると予想されています（令和7年3月現在）。これを念頭に、特に今回は、各自の避難と並行して、1階に保管してある経口・経管栄養剤やとろみ剤を非常階段で5階の備蓄倉庫まで運び、浸水から守るという訓練を中心に実施しました。



リーダーの指示を聞く
給食スタッフ



厨房より避難



非常階段で経口・経管栄養剤
やとろみ剤を運搬

多くの食料を持って階段で5階まで上がるのは体力的にも負担が大きいものですが、給食スタッフは迅速に運搬していました。



5階備蓄倉庫へ避難

訓練開始時はどう動けばよいか分からず戸惑う様子もありましたが、アクションカードを確認しながらリーダーの指示に従ってスムーズに動くことができていました。

参加者の声



避難訓練の約1か月前から机上訓練を実施していたため、避難訓練当日はその知識を活かした行動ができたと思います。今回の反省点も取り入れた机上訓練を今後も行いたいと思います。



事前の机上訓練とアクションカードの活用により、当日はスムーズに状況把握や指示出しができました。一方で、次の行動に移るまでに時間がかかる場面もあったため、今後の訓練では改善していきたいです。



本訓練を通じて、災害時における「食の確保」には、平時からの準備と現場の連携が不可欠であることを再確認しました。今後も栄養診療部と給食会社が一体となり、より実効性の高い訓練と備蓄体制の強化を進めていきます。

Face



患者様へ病院食を提供している
株式会社EVERYFOOD
相松 詩織 です

厨房業務では従業員ごとに稼働人数や勤務時間が異なります。誰がリーダーになっても適切に対応できるよう、災害時の行動を想定したアクションカードを用いて机上訓練を実施しています。また、緊急時に備えて緊急連絡網を定期的に更新しています。

Center Message

院内火災避難訓練に多数ご参加いただき、ありがとうございました。今回の訓練は、物品の燃焼による火災のみを想定したものでしたが、南海トラフ地震などの大規模災害時には、道路の寸断や多数の火災発生により、消防車の到着が遅れる可能性があります。また、消防用設備が破損する恐れもあります。そのため、消防機関へ消火活動を引き継ぐまでの間は、自衛消防組織を中心に、職員一人ひとりが迅速かつ的確に行動する必要があります。ご自身の職場にある 消火器・屋内消火栓の場所を把握していますか？ また、正しい使い方を理解していますか？ 海外の例では、消火器があつたにもかかわらず使用方法がわからず、消火器ごと火の中に投げ込んでしまい、全く役に立たなかったケースも報告されています。使用方法を知らなければ、初期消火は行えません。火災マニュアルに使用方法が記載されていますので、ぜひ一度目を通しておいてください。（センター臨床工学技士 あ）

災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

